

2018年（平成30年）10月10日

AI・IoTを活用した、まちづくりへ向けて 「IoTスマートライフ実証実験」を開始

相鉄いずみ野線 南万騎が原駅周辺で

相鉄ホールディングス株式会社

相鉄グループの相鉄ホールディングス(株)（本社・横浜市西区、社長・林英一）では、横浜市（市長・林文子）と(株)NTTドコモ（本社・東京都千代田区、社長・吉澤和弘）と共同で、相鉄いずみ野線 南万騎が原駅周辺を対象に、AI（人工知能、以下AI）、IoT（モノのインターネット、以下IoT）技術を活用し、まちの活性化を目指したIoTスマートライフ実証実験を10月13日（土）から開始します。

この実験は、相鉄ホールディングス(株)と横浜市が協定を締結している「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」*1の取り組みの一環として行うもので、地域のコミュニティーの活性化と、多様な年齢が住みやすいまちづくりに生かす目的で実施するものです。

リストバンド型の活動量計を活用し、日常の歩数・歩行距離、睡眠状態、消費カロリー等を自動計測して専用アプリで一元管理する他、参加者をグループ分けして、共通目標の達成や歩数を競いながらコミュニティーの活性化を目指します。計測したデータは、エリアマネジメントの活動拠点である「みなまきラボ」（商業施設「相鉄ライフ 南まきが原」内）に設置したスマートミラー（10月下旬設置予定）でも確認することができ、グループごとの歩数や個人順位などが表示されます。また、コミュニケーションアプリのLINE上でAIを利用したチャットボットを活用し、電車の到着時刻や地域のイベント情報等生活に役立つ身近な情報を提供すると共に、スポーツ投稿機能を活用して、まちのおすすめ情報や気づいたことなどを広く収集する相互対話システムを構築します。

また、本実証実験の一環として、リストバンド型の活動量計を着用して参加いただくウォークラリーイベントを、2018年10月13日（土）に相鉄いずみ野線 南万騎が原駅周辺で開催します。

相鉄いずみ野線沿線では、世代間の住み替え循環を促進する“ターン・テーブルモデル”*2によるまちづくりなどを進めています。今回の実証実験をもとに相鉄線沿線にお住まいの方が健康で快適に生活することができる環境を整え、地域住民の交流の場を設けることで、さらなる沿線の発展に貢献します。

概要は、別紙のとおりです。



みなまきラボに設置されるスマートミラー（イメージ）



実証実験が行われる
南万騎が原駅前

「IoTスマートライフ実証実験」概要

1. 概要

リストバンド型の活動量計やスマートミラーなどのIoT機器を活用したウォーキングイベント等を実施し、参加者同士で活動状況を共有する場をつくります。併せて、AI技術を用いた住民向けのチャットボットの活用によるコミュニティ活性化の有効性を評価し、まちづくりへの効果を検証していきます。

2. 実証実験の内容

- (1) 2018年10月13日(土)から3か月間実施予定。リストバンド型の活動量計を活用して、日常の歩数・歩行距離、睡眠状態、消費カロリーなどを自動計測し、専用アプリにより一元的に管理します。
- (2) エリアマネジメントの活動拠点である「みなまきラボ」(相鉄ライフ 南まきが原内)に時間や天気が表示できるスマートミラーを設置(10月下旬予定)し、各個人のリストバンド型の活動量計と連動させ、グループごとの歩数や個人順位などを表示します。



スマートミラー画面 (イメージ)



みなまきラボの外観

- (3) コミュニケーションアプリLINEのAIを使ったチャットボット・みなまきロボットが様々な情報を発信します。



みなまきラボLINE (イメージ)



チャットボットの画面 (イメージ)

- (4) ウォークラリーイベント「みなまきでまち博士になろう！」等で、グループごとに歩数を計測し、グループ間で歩数を競うことなどで地域住民同士のコミュニケーション促進を目指します。

- ・日 時：10月13日(土) 10:00~12:00
- ・参加者：親子先着10組(大人の方の個人参加も可)
- ・申込締切：10月12日(金)

お申込みはこちら！
お問合せ先：STGK 担当 森
mori@stgk.jp / 045-651-1662
受付時間：平日10:00-19:00



＊1 「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」とは・・・

2013年4月に相鉄ホールディングス(株)と横浜市が「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結、地域住民の高齢化など、これから想定される課題の解決や沿線の再活性化に向けた取り組みを実施しています。

＊2 “ターン・テーブルモデル”による街づくりとは・・・

2010年から2019年の10年間を計画年度とする、相鉄グループの「成長戦略ロードマップ」として策定されたグループビジョン“*Vision100*”の中で提唱したモデルで、街の魅力と人々の縁によって人口の流入を促進、流出を防止するための人口循環メカニズム。

